

職業実践専門課程の基本情報について

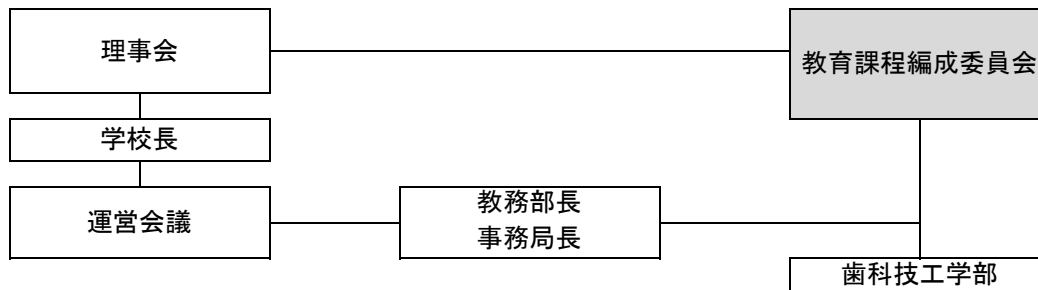
学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
新東京歯科技工士学校	昭和56年3月30日	福原 達郎	〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2211																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人 東京慶應学園	昭和61年2月1日	中村 道雄	〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2211																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
医療	歯科技工士 専門課程	歯科技工士科 I 部	平成22年文部科学省 告示第五十三号																								
学科の目的	知識・技術・社会人基礎力を兼ね備え、歯科医療チームの一員として活躍できる歯科技工士となる。																										
認定年月日	平成26年 3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2	昼間	1800時間	615時間	165時間	1,020時間	0時間	0時間																				
単位時間																											
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
180人	156人	37人	7人	23人	30人																						
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～翌3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学業成績は、授業科目ごとに行う試験(筆記試験、実技試験等)によって評価される。 その評価はA(90～100点)、B(80～89点)、C(70～79点)、D(60～69点)、F(59点以下・不合格)、E(受験資格喪失)で行い、D以上で合格とする。																							
長期休み	■学年始め: 4月1日 ■夏季: 8月の3週間 ■冬季: 12月下旬～翌年1月の2週間 ■学 年 末: 3月の3週間		卒業・進級 条件	■1つの学期ごとに全科目A～Dまでの評価を得た者。 ■卒業時まで全科目を履修し、学年ごとに必修単位数を取得し、学校長が適当と認めた者																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任から家庭への定期的な電話連絡の他に、必要に応じて、個人面談、三者面談を実施する。		課外活動	■課外活動の種類 ・歯科技工士会と連携した研修会の開催 ・各種講習会、デモンストラション、学会の参加																							
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) 歯科技工所、歯科診療所、歯科機材メーカー ■就職指導内容 学内合同就職説明会や人事採用ご担当者を招き、情報提供に努めている。 ■卒業生数 : 73 人 ■就職希望者数 : 68 人 ■就職者数 : 68 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 93 % ■その他 ・進学者数: 3人 ・その他(帰国、健康不安、家庭の事情) 2名 (令和 3 年度卒業者に関する 令和4年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歯科技工士免許</td> <td>②</td> <td>73人</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する 記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	歯科技工士免許	②	73人	70人												
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
歯科技工士免許	②	73人	70人																								
中途退学 の現状	■中途退学者 14 名 令和3年4月1日時点において、在学者180名(令和3年3月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者166名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 病気、学力不振、進路変更		■中退率	7.7 %																							
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(入学前の成績優秀者への学費減免)・スカラシップ制度(在校生向け学校独自指標優秀者への学費減免) ・被災罹災者学費減免 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象																										
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科の ホームページ URL	<a href="https://www.dt.ntdnt.ac.jp/departments/dept1/">URL:https://www.dt.ntdnt.ac.jp/departments/dept1/</a>																										

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針  
教育課程の編成において、業界が求める人材要件(知識・技術・人間性等)を明確にし、必要となる最新の知識・技術を反映するため、企業・業界団体等の意見を活かし、教育課程の改善及び改訂を定期的実施することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、教育課程を決定する「理事会」の直下に位置付けられ、教育課程編成委員会で出された意見は、運営会議にて改善案を起案し、理事会において審議され教科課程へ反映される。



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
山下 茂子	一般社団法人 日本歯科技工学会	2022年4月1日～2024年3月31日	①②
大学 泉介	一般社団法人 千葉県歯科技工士会	2022年4月1日～2024年3月31日	①②
木村 正	株式会社 中央歯科補綴研究所	2022年4月1日～2024年3月31日	③
伊藤 世由	アライン・テクノロジー・ジャパン・トリート合同会社	2022年4月1日～2024年3月31日	③
小川 昭久	学校法人 東京滋慶学園 評議員	2022年4月1日～2024年3月31日	
福原 達郎	新東京歯科技工士学校 学校長	2022年4月1日～2024年3月31日	
関口 崇之	学校法人 東京滋慶学園 副運営本部長	2022年4月1日～2024年3月31日	
今井 リカ	新東京歯科技工士学校 事務局長	2022年4月1日～2024年3月31日	
植田 慎司	新東京歯科技工士学校 教務部長	2022年4月1日～2024年3月31日	
富野 浩子	新東京歯科技工士学校 学科長	2022年4月1日～2024年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 6月 11月

(開催日時)

2022年度	2021年度
第1回 2022年6月2日 18:00～20:00	第1回 2021年 6月29日 18:00～20:00
第2回 2022年10月31日 18:00～20:00	第2回 2021年11月30日 18:00～20:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

①「キャリアデザインⅠ」の授業内容を見直し、実践を交えながらコミュニケーションを向上させる授業を実施。  
また「キャリアデザインⅡ」「歯科技工実習総合Ⅰ」の科目で歯科医療における歯科技工士の役割や将来像が明確になるような内容に変更した。

②希望者選択制のゼミ教育を開講。各ゼミでは歯科医療業界のスペシャリストを講師として招き、実践的で高度な内容が学べるカリキュラムになるよう見直し、内容のレベルアップを図った。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

在学中に、様々な臨床実習や歯科技工士の働き方を知ることにより、卒業後の進路決定や将来像の参考になるような機会とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

インターンシップⅠ、Ⅱでは、企業見学および就業体験を実施する。就業体験では一人で企業に赴き、一日の仕事の流れを体験しながら社会人としてのマナーや作業効率を学ぶ。また、臨床的実習模型等を用いた実習を現場の担当者の指導のもと実施する。

各項目について評価表を提出して頂き、最終評価は本校教員が行う。

情報技術基礎ではIT専門の企業と連携し、社会人として必要な情報リテラシーについて、さまざまな事例をもとに理解する。

また、Word、Excel、PowerPointの基本操作を習得する。各項目について評価表を提出して頂き、最終評価は本校教員が行う。

スポーツ歯学入門では、スポーツ歯科を専門としている歯科医院と連携し、プロアスリートの外傷予防に必要な知識について事例を交えながら学ぶ。各項目について評価表を提出して頂き、最終評価は本校教員が行う。

有床義歯技工学基礎Ⅰでは、最先端の技術で歯科治療を行っている歯科医院と連携し、義歯製作に必要な基礎を学ぶ。各項目について評価表を提出して頂き、最終評価は本校教員が行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップⅠ	歯科技工士が働く現場(歯科技工所や歯科診療所)の見学や体験を通して、臨床現場の仕事の流れを理解し、卒業後の進路決定の参考にする。また、訪問先で接する人々に対するマナーを知ることを通して社会性を身につける。	(株)ワールドラボ、和田精密歯研(株)、(株)中央歯科補綴研究、(株)オーアラ、(株)ZOO LABO、(株)ジーシー等
インターンシップⅡ		
情報技術基礎	社会人として必要な情報リテラシーを理解する。Word、Excel、PowerPointの基本操作ができることを目標とする。	(株)プレーンスタッフコンサルタンツ
スポーツ歯学入門	スポーツ歯学の概要及びスポーツマウスガードの役割を学ぶ。学生自身の口腔内模型を用いて基本的なマウスガードが製作できることを目標とする。	みはる矯正歯科医院
有床義歯技工学基礎Ⅰ	義歯の構成要素、技工操作の手順を学び、実習授業において活用できることを目標とする。	ひかり歯科クリニック

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界と連携し、学会発表のための共同研究や企業主催の研修に積極的に参加する。  
学部長、学科長中心に年間の研修を企画し、上記の研究成果や研修で得られた知識を学内で共有する。

※教員研修規程からの抜粋

第2条 研修は、教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させるとともに、マネジメント能力を含む指導力の習得、向上させるために行う。

第4条 法人本部並びに学校は、教員の研修計画を策定、実施し、教員に研修を受ける機会を与えなければならない。

2 法人本部または学校が必要と認めるとき、他の機関と共同または委託し、研修を行うことができる。

第6条 教員は、日常の勤務を通し必要な研修を受けるものとする。

2 日常勤務を通した研修は、教員の監督者がその計画を策定、実施する。

#### (2) 研修等の実績

##### ①専攻分野における実務に関する研修等

〔特別講習会〕

対象:専任教員

主催:全国歯科技工士教育協議会

内容:最新のデジタル器材の紹介など

期間:2021年8月30日

デジタルゼミおよびデジタル歯科技工実習担当教員の技術向上を目指し教育に活かす。

【日本スポーツ歯科医学会第32回総会・学術大会】

対象:専任教員

主催:口腔保健協会

内容:スポーツ歯学講演、教育講演、ポスター発表など

期間:2021年9月21日～22日

スポーツゼミおよびスポーツ歯学担当教員の知見を深め、教育に活かす。

##### ②指導力の修得・向上のための研修等

【進路アドバイザー研修】

対象:専任教員

主催:滋慶教育科学研究所

内容:進路変更の現状と今後の在り方について。

期間:2021年8月24日

他校の実践的な取り組みから、進路アドバイザーとしての役割を再検討する。

【国家試験対策研修会】

対象:専任教員

主催:滋慶学園グループ 国家試験対策センター(動画視聴型)

内容:医療・福祉系国家試験の問題傾向と合格対策について、報告と事例発表など

期間:2021年6月28日～10月31日

国家試験の最新の結果と問題傾向を検証結果を情報収集し、国家試験全員合格に向けての対策を検討する際の参考にする。

【マネジメント研修】

対象:学科長

主催:滋慶教育科学研究所

内容:マネジメント教育について

期間:2021年10月19日

DXに向けてそれぞれの組織に即したマネジメントについて考える。

【教職員カウンセリング研修】

対象:専任教員

主催:滋慶科学教育研究所

**【コーチング研修】**

対象:専任教員

主催:滋慶科学研究所

内容:主体的な行動を促すコーチングスキルの習得

期間:2021年6月25日、12月20日

教職員のコーチングスキルの向上により、学生自身が主体的に考え行動できるようキャリア教育に活かす。

**【FDミドルレベル研修】**

対象:専任教員

主催:滋慶科学研究所

内容:カリキュラムマネジメントの基礎を学び、自学科のカリキュラム開発の課題発見ができる。

期間:2021年7月14日

カリキュラムマネジメントを学び、自学科のカリキュラム開発へ活かす。

**【進路アドバイザー研修】**

対象:専任教員

主催:滋慶教育科学研究所

内容:進路変更の現状と今後の在り方について。

期間:2021年8月24日

他校の実践的な取り組みから、進路アドバイザーとしての役割を再検討する。

**【国家試験対策研修会】**

対象:専任教員

主催:滋慶学園グループ 国家試験対策センター(動画視聴型)

内容:医療・福祉系国家試験の問題傾向と合格対策について、報告と事例発表など

期間:2021年6月28日～10月31日

国家試験の最新の結果と問題傾向を検証結果を情報収集し、国家試験全員合格に向けての対策を検討する際の参考にする。

**【マネジメント研修】**

対象:学科長

主催:滋慶教育科学研究所

内容:マネジメント教育について

期間:2021年10月19日

DXに向けてそれぞれの組織に即したマネジメントについて考える。

**【FDミクロレベル(フォローアップ)研修】**

対象:専任教員

主催:滋慶教育科学研究所

内容:授業リフレクションの進め方。コーチングスキルを用いた事例検討。

期間:2021年11月25日

授業の振り返りを行い、授業改善の工夫に活かす。またコーチングの基礎を学びクラス運営に活かす。

**【キャリア教育インストラクター研修】**

対象:学科長以上

主催:滋慶教育科学研究所

内容:「成功の原則」を教職員に教え、伝えられる人になる。

期間:2022年1月28日

**【マネジメント基礎研修】**

対象:学科長以上

主催:滋慶教育科学研究所

内容:マネジメントの基本的知識を体系的に理解し立案、実践していく。

期間:2022年6月15日～6月16日

**【EAST DX研修】**

対象:学科長以上、DX委員+指名者

主催:滋慶教育科学研究所

内容:DXの概念やポイントを整理しDXを推進していく。

### (3) 研修等の計画

#### ① 専攻分野における実務に関する研修等

##### 【専任教員講習会Ⅰ】

対象: 専任教員

主催: 全国歯科技工士教育協議会

内容: 歯科技工学のカリキュラムプランニング、評価法

期間: 2022年8月4日～8月5日(予定)

##### 〔実技研修会Ⅱ〕

対象: 専任教員

主催: 全国歯科技工士教育協議会

内容: 最新のデジタル器材の紹介など

期間: 2022年8月2日(予定)

デジタルゼミおよびデジタル歯科技工実習担当教員の技術向上を目指し教育に活かす。

#### ② 指導力の修得・向上のための研修等

##### 【教職員カウンセリング研修】

対象: 専任教員

主催: 滋慶科学教育研究所

内容: カウンセリングマインドを身につけて、学生や保護者に対応できるようにスキル向上する。

期間: 2022年8月2日～9月7日

##### 【Teams研修】

対象: DX推進委員

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: Teamsの使い方、運営方法、活用事例など。

期間: 2022年9月以降

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を置く。評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	理念・目的・育人人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

今回の学校関係者評価結果ならびに委員会での意見については、理事会や学内の運営会議などの意思決定機関にフィードバックされ、翌年度における重点課題への反映及び、具体的な取り組みに落とし込んでいく。とりわけ、2021年度の学校関係者評価並びに委員の意見を踏まえ、昨今のコロナ禍に象徴されるような、感染状況により学習方法を柔軟に変更することが求められた際に、業界の求める知識・技術をはじめ、本来 インターンシップなどの学外実習で身につくような現場対応力やコミュニケーション力についても学内実習で習得できるような、多様性のある学習方法を開発・実践することで、より質の高い教育への改善を図る。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2022年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
中村 八大	株式会社 テクニカルセンター	2022年4月1日～2024年3月31日	卒業生
水林 登	歯科技工士科 I 部 在校生の保護者	2021年4月1日～2023年3月31日	保護者
森 章	拓殖大学紅陵高等学校	2022年4月1日～2024年3月31日	高等学校
中島 穰	公益社団法人 東京都大田区大森歯科医師会	2022年4月1日～2024年3月31日	地域等委員
南部 哲男	一般社団法人 日本歯科技工所協会	2022年4月1日～2024年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<https://www.dh.ntdent.ac.jp/information/>

令和4年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

歯科業界の動向や最新の技術について情報提供していただき、カリキュラムの見直しを図る。  
また、学生の進路決定や将来の目標設定させる際の参考とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	国際連携の状況
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<https://www.dh.ntdent.ac.jp/information/>



授業科目等の概要

(歯科技工士専門課程 歯科技工士学科 I 部) 2022年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		(前)		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			情報技術基礎 Fundamentals of Informaion Technology	インターネットの使い方、使用する上でのモラルをまとめ、Word、Excel、PowerPointを使いレポート作成ができることを目標とする。	1年次前期	15	1	○			○			○	○
○			外国語 English for Dental Technology	あいさつ、海外訪問時に病気になった時、海外の展示会などで用いる代表的な表現を用いて、基本的な情報交換ができることを目標とする。	1年次後期	15	1	○			○				○
○			造形美術概論 Compendium of Art of Dental Technology	形態の見方や表現方法の基礎を学ぶ。演習を通じて歯科技工に必要な立体的形態の表現技術を養うことを目標とする。	1年次前期	15	1		○		○				○
○			キャリアデザイン I Career Design I	自己理解および他者理解を学ぶ。特に異文化とコミュニケーション技術を用いて自己信頼の構築を目標とする。	1年次前期	15	1	○			○			○	○
○			キャリアデザイン II Career Design II	キャリアデザイン I での学びを自らのキャリア形成に活用する。業界動向の諸事例を元に、将来像を明確にすることを目標とする。	2年次前期	15	1	○			○			○	○
○			歯科技工学概論 Compendium of Dental Technology Science	歯科医療に関する基礎知識、歯科技工の重要性及び歯科技工物について学び、その概要をまとめることを目標とする。	1年次前期	15	1	○			○			○	○
○			歯科技工士関係法規 Dental Technologist Applicable Laws and Regulations	歯科技工士として業務を行うために必要な「歯科技工士法」を中心に、歯科医療に関する法律への理解と遵守を目標とする。	2年次前期	15	1	○			○			○	
○			歯科臨床基礎 Fundamentals of Clinical Dentistry	歯科保存治療に不可欠な、仮歯及び個歯トレーの製作工程とその要点を、製作を通じて理解することを目標とする。	2年次後期	15	1		○		○			○	○
○			歯の解剖学基礎 I Dental Anatomy-Basis I	歯や口腔の概説、特に永久歯の形態的特徴を学び、実習授業においてその知識を活用できることを目標とする。	1年次前期	30	2	○			○			○	
○			歯の解剖学応用 Dental Anatomy-Advanced	筋の働きを中心とした口腔機能や歯の発生機構、硬組織及び歯周組織について、構造と経年変化を明示できることを目標とする。	2年次前期	30	2	○			○			○	
○			歯型彫刻基礎 Dental Carving	歯型彫刻に必要な器具の正しい使い方を学び、繰り返し実践することで、設定した課題を制限時間内に完成できることを目標とする。	1年次前期	30	1			○	○			○	○
○			顎口腔機能学応用 Stomatognathic Function Science-Advanced	様々な咬合位において咬合関係を理解し、実習授業にその知識を活用できることを目標とする。	2年次前期	15	1	○			○				○

○			顎口腔機能学実践 Training of Stomatognathic Function Science	顎口腔機能の基礎的知識を咬合器装着と補綴物の製作を通じて確認できることを目標とする。	2年次 前期	15	1		○	○	○	○						
○			歯科理工学基礎 I Dental Materials Science- Basic I	石膏、埋没材、歯科用金属について、種類とそれらの性質の違いを認め、理論に基づいた取り扱いができることを目標とする。	1年次 前期	30	2	○		○								○
○			歯科理工学基礎 II Dental Materials Science- Basic II	ワックスや床用レジンの性質について、種類とそれらの性質の違いを認め、理論に基づいた取り扱いができることを目標とする。	1年次 後期	30	2	○		○								○
○			歯科理工学応用 I Dental Materials Science- Advanced I	セラミックや複合材料について、種類とそれらの性質の違いを認め、理論に基づいた取り扱いができることを目標とする。	2年次 前期	30	2	○		○								○
○			歯科理工学応用 II Dental Materials Science- Advanced II	高分子、セラミックス及び複合材料の種類と性質の違いを認め、理論の実践ができることを目標にする。	2年次 後期	15	1		○	○								○
○			有床義歯技工学基礎 I Denture Techniques -Basic I	ヒトの生体に関する基礎知識及び、部分床義歯の構成要素、技工操作の手順を学ぶ。実習授業において活用できることを目標とする。	1年次 前期	30	2	○		○								○
○			有床義歯技工学基礎 II Denture Techniques -Basic II	金属床義歯及び全部床義歯の特性、印象方法、模型製作から完成までの手順を学ぶ。実習授業において活用できることを目標とする。	1年次 後期	30	2	○		○								○
○			部分床義歯基礎実習 I Basic Training of Partial denture Techniques I	義歯に関する基本的事項について、学生自らが装着できる「口蓋板」の製作を通じて確認できることを目標とする。	1年次 前期	30	1			○	○							○
○			部分床義歯基礎実習 II Basic Training of Partial denture Techniques II	部分床義歯構成要素の一つである支台装置の製作を通して、義歯の基本設計を習得することを目標とする。	1年次 前期	30	1			○	○							○
○			部分床義歯基礎実習 III Basic Training of Partial denture Techniques III	部分床義歯製作における完成までの手順と理論及び基礎技術について、製作を通じて確認できることを目標とする。	1年次 前期	30	1			○	○							○
○			有床義歯基礎実習 Denture Techniques	課題製作を通じて部分床義歯製作の各工程を確認し、基礎力を習得することを目標とする。	1年次 後期	30	1			○	○							○
○			全部床義歯基礎実習 I Basic Training of Complete denture Techniques I	義歯製作に必要な個人トレー、作業模型製作、咬合器装着に関する知識について、製作を通じて確認できることを目標とする。	2年次 前期	30	1			○	○							○
○			全部床義歯基礎実習 II Basic Training of Complete denture Techniques II	人工歯排列、歯肉形成、口蓋部の形態等、義歯製作に必要な知識を、製作を通じて確認できることを目標とする。	2年次 前期	30	1			○	○							○
○			全部床義歯基礎実習 III Basic Training of Complete denture Techniques III	蠟義歯の埋没、重合、咬合調整、研磨から完成までの製作に必要な知識を、実践を通じて確認できることを目標とする。	2年次 前期	30	1			○	○							○
○			有床義歯総合実習 Basic Training of Denture Techniques	全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を、規定時間内に製作できる技術の習得を目標とする。	2年次 後期	30	1			○	○							○



○			技工基本実習Ⅰ Basic Training of Dental technology I	ワックスアップの製作について、反復練習を通じて、既習技能を確認することができる。また、基本操作を規定時間内に実践し、完成できることを目標とする。	1年次前期	30	1					○	○			○	○
○			技工基本実習Ⅱ Basic Training of Dental technology II	人工歯排列について、既習技能を確認することができる。また、基本操作を規定時間内に実践し、完成できることを目標とする。	1年次後期	30	1					○	○			○	○
○			歯型彫刻応用 Advanced Training of Dental Carving	歯のデッサンや歯型彫刻の反復練習を通して、歯の特徴について知識の確認を行う。指定した歯種の形態的特徴を表現できることを目標とする。	1年次後期	60	2					○	○			○	○
○			歯型彫刻総合Ⅰ Comprehensive Training of Dental Carving I	デッサンと歯型彫刻の技術向上を目指す。歯の形態的特徴を見本を用いて規定時間内に表現できることを目標とする。	2年次前期	30	1					○	○			○	○
○			歯型彫刻総合Ⅱ Comprehensive Training of Dental Carving II	デッサンと歯型彫刻の技術向上を目指す。歯の形態的特徴を見本を用いずに規定時間内に表現できることを目標とする。	2年次後期	60	2					○	○			○	○
○			歯科技工実習総合Ⅰ Training of Dental Technology I	チーム歯科医療の一員としての役割を、歯科衛生士科や歯科技工士科2年生との実習を通じて確認できることを目標とする。	1年次前期	30	1					○	○			○	○
○			歯科技工実習総合Ⅱ Training of Dental Technology II	習得した知識や技能の確認を行う。課題製作を通じて学生自らも今後の課題を設定し、技術向上に活かせることを目標とする。	1年次後期	30	1					○	○			○	○
○			歯科技工実習総合Ⅲ Training of Dental Technology III	課題製作や合同実習を通じて、習得した知識や技能の確認を行う。今後の課題を設定し、技術向上に活用することを目標とする。	2年次前期	30	1					○	○			○	○
○			歯科技工実習総合Ⅳ Training of Dental Technology IV	課題製作を通じて、「スピード」、「正確さ」を身につけ、臨床現場に対応した基本操作の再確認をし、確実な知識と技能を身に付けることを目標とする。	2年次後期	30	1					○	○			○	○
○			歯の解剖学基礎Ⅱ Dental Anatomy-Basis II	口腔機能、特に頭蓋骨及び頭部を中心とした筋肉の構造と機能について明示できることを目標とする。	1年次後期	15	1	○				○				○	○
○			顎口腔機能学基礎 Stomatognathic Function Science-Basic	下顎運動と咬合の概要を学び、歯科技工物の製作に必要な基礎知識を記述できることを目標とする。	1年次後期	15	1	○				○					○
○			矯正歯科技工学総論 Principles of Orthodontics	矯正歯科治療の概要及び技工器具と器械、材料や技工の手法について明示できることを目標とする。	1年次後期	15	1	○				○					○
○			小児歯科技工学総論 Principles of Pedodontics	小児歯科で用いる装置の製作に必要な小児期の成長発育の特徴を学ぶ。特に歯列の成長発育について明示できることを目標とする。	1年次後期	15	1	○				○					○
○			有床義歯技工学応用 Denture Techniques -Advanced	既習事項である全部床義歯及び部分床義歯について、得られた知識を構造化し、説明できることを目標とする。	2年次前期	15	1	○				○				○	
○			総合歯科技工学Ⅰ Dental Technology - Comprehensive I	歯科技工業務を見据えて専門科目の枠を超え、今までの学びを総合的に復習し理解することを目標とする。	2年次前期	30	2	○				○				○	○

○		総合歯科技工学Ⅱ Dental Technology - Comprehensive II	歯科技工業務を見据えて専門科目の枠を超え、今までの学びを総合的に復習し正確に理解することを目標とする。	2年次後期	90	6	○			○		○	○	
○		総合歯科技工実習 Training of Dental Technology -Comprehensive	規定課題を時間内に製作し、技術向上を目標とする。	2年次後期	30	1				○	○		○	○
○		スポーツ歯学入門 Introduction to Sports Dentistry	スポーツ歯学の概要及びスポーツマウスガードの役割を学ぶ。学生自身の口腔内模型を用いて基本的なマウスガードが製作できることを目標とする。	1年次後期	15	1				○			○	○
○		デジタル歯科技工入門 Introduction to Digital Dental Technology	PCの基本操作を学び、歯科専用ソフトウェアを用いて「盛る」「削る」操作し、歯の形を作ることを目標とする。	1年次後期	15	1				○			○	○
○		総合歯科技工入門 Introduction to Dental Technology	陶材焼付金属冠及び、金属床フレームワークのワックスアップについて学ぶ。製作工程の流れとその要点を、製作を通じて理解することを目標とする。	1年次後期	30	2				○			○	○
○		課題研究実習Ⅰ Research and Professional Practice I	修得した知識や技術を振り返り、技術向上のために必要な技工作品と製作計画を検討立案することができる。また、実際に製作を開始することを目標とする。	2年次前期	30	1							○	○
○		課題研究実習Ⅱ Research and Professional Practice II	技術向上のために設定した技工作品と製作計画を実践する。計画通りに製作を進めることを目標とする。	2年次後期	30	1							○	○
○		課題研究実習Ⅲ Research and Professional Practice III	技工作品の完成を踏まえ、設定した課題と目指した技術向上について、製作過程とその結果について検証することができることを目標とする。	2年次後期	30	1							○	○
○		インターンシップⅠ Internship I	代表的な歯科技工士就業施設の見学を通して歯科医療専門職として社会で働くために必要な課題を設定できることを目標とする。	1年次前期	15	1							○	○
○		インターンシップⅡ Internship II	歯科技工業務の見学及び就業体験を通じて、業界で活躍するための課題を設定し、進路決定の準備を具体的に進めることができる。	2年次前期	30	2							○	○
	○	国際教育 International education	国内外における歯科医療や訪問国における歯科業界の動向について、現地での研修を通じて学び、記述することができることを目標とする。	1年次後期	15	1							○	○
	○	国際社会・文化Ⅰ International community and culture I	アジア歯科医療の高度化を担う人材を目指し、まずは身近な国際社会となる留学生と共同で課題設定と演習を行い、多国籍文化について記述できることを目標とする。	1年次前期	15	1							○	○
	○	国際社会・文化Ⅱ International community and culture II	アジア歯科医療の高度化を担う人材になるために必要な課題と持続可能な開発目標(SDGs)の接点について話し合い、産学連携授業を通じて卒業後の課題設定をすることができる。	2年次前期	15	1							○	○
合計			70科目	1,845時間(89単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学年ごとに必須単位数を修得し進級する。		1学年の学期区分 前期・後期	
全科目履修で卒業となる。		1学期の授業期間	15週